コンピューターの準備

著作権およびライセンス

ハードドライブの容量について

Microsoft® Windows® オペレーティングシステムがプリインストールされた HP および Compaq コンピューターのハードドライブ領域は、製品仕様書、説明書、または箱に記載されているサイズよりも小さく表示されることがあります。ハードドライブの製造販売元による記載および広告では、10 進法（ベース 10）で容量を表記しています。Microsoft Windows および FDISK などのその他のプログラムでは、2 進法（2 を基数とする進法）を使用しています。

10 進法では、1 MB は 100 万バイト、1 GB は 10 億バイトになります。2 進法では、1 MB は 104 万 8576 バイト、1 GB は 10 億 7374 万 1824 バイトになります。計算方法が異なるため、Microsoft Windows で表示されるサイズと広告に記載されているサイズが異なる場合があります。ハードドライブの保存容量は、広告に記載されているとおりです。

Microsoft Windows のエクスプローラーツールやコンピューターのウィンドウで値が少なめに表示される理由は、ハードドライブ上にある 1 つのパーティションの情報のみが表示されるためです。パーティションには、システムリカバリ情報が含まれているものなど複数のパーティションがあります。

目次

1 「知りたい/困った」を調べるには

カテゴリ	参照先
• コンピューターのセットアップ	コンピューターに付属の『クイックセットアップ』
• コンピューターの機能の使用に関するハウツービデオの表示	http://www.hp.com/supportvideos/（英語サイト）を表示してください HP TouchSmart アプリケーションのカルーセルにある **[チュートリアル]** アイコンをタップします
• コンピューターの使用 • インターネットへの接続 • 工場出荷時設定への復元	『コンピューターの準備』（このガイド）
• コンピューターのハードウェアとソフトウェアに関する最も一般的な問題のトラブルシューティング • ドライバー更新プログラムへのリンクの検索 • よくある質問の表示	ヘルプとサポート： **[スタート]** ボタン→ **[ヘルプとサポート]** の順にタップします
• Microsoft® Windows 7® オペレーティングシステムの使用方法の学習 • Windows 7 のサポート情報の検索	Windows 7 のトラブルシューティングツール： **1**. **[スタート]** ボタン→ **[コントロール パネル]** → **[システムとセキュリティ]** の順にタップします **2**. **[アクション センター]** で **[問題の発見と解決]**（トラブルシューティング）をタップします HP のサポート Web サイト（http://www.hp.com/support/） http://www.hp.com/go/win7 を表示します
• お使いのモデルのコンピューター用の電子ユーザーガイドと仕様の検索 • 詳細なトラブルシューティングのヘルプ情報の検索	HP のサポート Web サイト（http://www.hp.com/support/）

カテゴリ	参照先
• コンピューターのコンポーネントのアップグレードまたは交換	『アップグレード ガイド』 **[スタート]** ボタン→ **[すべてのプログラム]** → **[ユーザー ガイド]** の順にタップします
	このガイドが上の操作で利用できない場合は、http://www.hp.com/support/ を表示してください
• コンピューターの保証情報の検索 • サポート窓口への連絡	コンピューターに付属の『サポート ガイド』
• Windows のコミュニティから最新情報およびヘルプの入手	http://h20566.www2.hp.com/portal/site/hpsc/public/fm/home/
• テレビへの接続(一部のモデルのみ)	コンピューターに付属の『クイック セットアップ』
	『テレビの視聴および録画』(タイトルはモデルにより異なる場合がございます。) **[スタート]** ボタン→ **[すべてのプログラム]** → **[ユーザー ガイド]** の順にタップします
	このガイドが上の操作で利用できない場合は、http://www.hp.com/support/ を表示してください
• コンピューターの使用に役立つユーティリティの入手	**[PC ヘルプとツール]** フォルダー **[スタート]** ボタン→ **[すべてのプログラム]** → **[PC ヘルプとツール]** の順にタップします
• コンピューターのメンテナンス	HP Support Assistant : 自動更新、オンボード診断、およびアシスタント機能によってコンピューターのパフォーマンスを維持し、問題をすばやく解決します **[スタート]** ボタン→ **[すべてのプログラム]** → **[HP]** → **[HP Support Assistant]** の順にタップします
• 人間工学的情報の検索	『快適に使用していただくために』 **[スタート]** ボタン→ **[すべてのプログラム]** → **[ユーザー ガイド]** の順にタップするか、http://www.hp.com/ergo/ を表示します

カテゴリ	参照先
• 壁面へのコンピューターの取り付け（一部のモデルのみ）	『Wall-Mounting your HP TouchSmart』（壁面への HP TouchSmart の取り付け） **[スタート]** → **[すべてのプログラム]** → **[ユーザー ガイド]** の順にタップします
	このガイドが上の操作で利用できない場合は、http://www.hp.com/support/ を表示します（一部の国/地域のみ）

⚠ **警告！** 感電や装置への損傷を防ぐため、水、埃、湿気、油煙などの多い場所に設置しないでください。内部の温度が上昇して、火災や感電の原因となることもあります。

⚠ **警告！** 電源コードのアースプラグを無効にしないでください。電源コードは、必ず手が届きやすい場所にある接地（アース）付きコンセントに接続してください。

⚠ **警告！** 装置から電源を切り離すときは、電源コードをコンセントから抜いてください。

⚠ **警告！** 電源装置は、コンピューターを購入した国/地域に対応するよう事前に設定されています。他の国/地域で使用する場合は、電源コンセントにコンピューターのプラグを差し込む前に、その国/地域の電圧条件を調べてください。

⚠ **警告！** レーザー光を直接浴びないようにするため、CD ドライブまたは DVD ドライブを分解しないでください。

注記： 一部の機能は、Microsoft Windows が付属していないシステムでは使用できない場合があります。

2 機能

機能はモデルによって異なります。

HP TouchSmart PC は、タッチ対応の高性能コンピューターを HD 対応のワイドディスプレイに組み込んだコンピューターです。スリムな本体に、最新の機能が搭載されています（機能はモデルによって異なります）。たとえば、Web カメラ、CD/DVD/ブルーレイディスクのプレーヤーおよび書き込みデバイス、Bluetooth® 機能、USB コネクター、メディアカードリーダー、802.11n 無線ネットワーク、Beats Audio™ デバイス（別売）完全対応機能、高品質スピーカーなどの機能があります。

一部のモデルの HP TouchSmart PC は、VESA 準拠の壁面固定用器具を使用して壁に取り付けることができます。

HP TouchSmart アプリケーションは､お使いのコンピューターのタッチ機能を最大限に高めるように設計されています。HP TouchSmart アプリケーションに搭載された新機能には、マジックキャンバス、Magnet の作成、他のソフトウェアアプリケーションの簡単な対話操作、Web サイトのショートカットタイルの作成などがあります（搭載アプリケーションはモデルにより異なります）。HP TouchSmart ソフトウェアを起動するには、デスクトップの [HP TouchSmart] アイコン をタップするか､または［**スタート**］ボタン→［**HP TouchSmart**］の順にタップします。

- **マジックキャンバス**
  - マジックキャンバスをタップしてサブメニューにアクセスすると、背景を変更したり、マジックキャンバス上でメモを作成して貼り付けたり、画面に表示されるメディアの種類をフィルタリングしたりできます。
  - 静的および動的なオブジェクトを使用して、マジックキャンバスの外観をカスタマイズできます。
  - マジックキャンバスには、プレイリスト、スライドショー、音楽、グラフィティ、動画、および写真を配置できます。
  - 使用可能なアプリケーションおよびお気に入りの Web サイトのショートカットを含むカルーセルが、画面の下部に表示されます。カルーセルを指で左右になぞると、アプリケーションおよび Web サイトのショートカットが次々とスクロールされます。
- **Magnet の作成**
  - アプリケーション（写真、音楽、プレイリスト、メモ、カレンダー）からコンテンツをマジックキャンバスにドラッグします。
  - そのコンテンツへのショートカットが作成されます。
  - 画面をスクロールしても写真や音楽、メモなどのコンテンツが画面の外に出ていかないように、Magnet 機能を使ってマジックキャンバスに固定することもできます。
- **アプリケーションの対話操作**
  - カルーセル内のアプリケーションのうち、有効なものはすべて強調表示されます。
  - アプリケーションは、スクロールすることで画面内または画面外へと移動できます。
  - カルーセルのアプリケーションにタッチすると、そのアプリケーションが表示されます。

- [Quick Launch]（クイック起動）ボタンをタップすると、すべてのアプリケーションおよび Web サイトのショートカットが表示されます。
- アプリケーションの表示サイズは、全画面表示、部分表示、またはアイコン表示に調整できます。

- **Web サイトのタイル**

  お気に入りの Web サイトへのショートカットタイルをカルーセルに追加します。

3　コンピューターのセットアップ

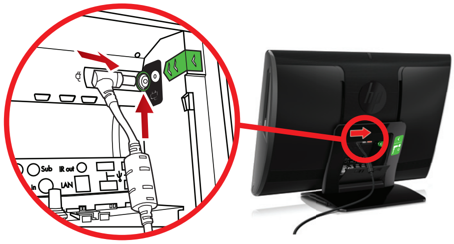
- ❑ コンピューターに付属の『クイックセットアップ』の手順に沿って操作します。
- ❑ コンピューターは、本体の周囲に十分な間隔を空け、通気孔が塞がれないような場所に置いてください。ケーブルは、通路上、家具の下、または踏まれるような場所に敷設しないでください。
- ❑ コンピューターおよびオプション製品の電源コードはすべて、サージ防止機能、無停電電源機能（UPS）、または同様の機能を持つサージ保安器に接続します。コンピューターで TV チューナーまたは電話接続を使用する場合は、それらの信号入力でもサージ保安器を使用してコンピューターを保護します。テレビケーブルまたは電話回線コードをサージ保安器に接続してから、コンピューターにサージ保安器を接続します。
- ❑ オペレーティングシステムのアップデートをダウンロードしてインストールします。
- ❑ 追加の印刷物や最新情報が梱包箱に入っていないか確認します。
- ❑ 『規定および安全に関する情報』を参照します。**[スタート]** ボタン→ **[すべてのプログラム]** → **[ユーザー ガイド]** の順にタップします。
- ❑ 正しい作業環境の整え方や、作業をする際の姿勢、健康上/作業上の習慣、および電気的/物理的安全基準についての情報については、『快適に使用していただくために』を参照してください。**[スタート]** ボタン→ **[すべてのプログラム]** → **[ユーザー ガイド]** の順にタップするか、http://www.hp.com/ergo/ を表示します。

コンピューターの接続

1. コンピューター背面にあるパネルの 2 つのタブを強くつまみ、パネルを引いて開けます。



2. 背面のコンピュータースタンドの枠の内側にあるくぼみの右上隅の電源コネクターに電源コードを差し込みます。



3. 3 ピンの電源プラグを電源コンセントに差し込みます。



4. 無線キーボードと無線マウスの両方で、白いタブを赤い矢印の方向に引き抜きます。



5. 電源ボタンを押します。



コンピューターの保護

コンピューターへの脅威	コンピューターの機能
コンピューターまたはユーザーアカウントの不正な使用	ユーザーパスワード **パスワード**は、コンピューターの情報を保護するためにユーザーが指定する文字列です
セットアップユーティリティ、BIOS 設定、およびその他のシステム識別情報への不正なアクセス	管理者パスワード
コンピューターウィルス	ウィルス対策ソフトウェア コンピューターにプリインストールされている無料の試用版ウィルス対策ソフトウェアを使用すると、既知のウィルスを検出および駆除でき、多くの場合はウィルスの被害にあった箇所を修復できます。試用期間を過ぎた後も新しいウィルスから保護するには、延長アップデートサービスを購入します

コンピューターへの脅威	コンピューターの機能
データへの不正なアクセスおよびコンピューターに対して続く脅威	ファイアウォールソフトウェア ● Windows 7 には、ファイアウォールソフトウェアが含まれています ● コンピューターにプリインストールされているウィルス対策ソフトウェアにも、ファイアウォールソフトウェアが含まれています
コンピューターのセキュリティ	Windows 7 の重要なセキュリティアップデート Microsoft では、継続的に Windows 7 オペレーティングシステムをアップデートしています

注記： セキュリティ機能に抑止効果はありますが、盗難、誤った取り扱い、およびソフトウェアによる攻撃を完全に防ぐものではありません。

ソフトウェアおよびハードウェアデバイスを追加するときのガイドライン

コンピューターの初回セットアップを完了すると、ソフトウェアプログラムまたはハードウェアデバイスを追加できます。お使いのコンピューター用に新しいソフトウェアまたはハードウェアを購入する前に、オペレーティングシステム、メモリ、その他の要件の一覧を確認します。新しいソフトウェアをインストールするには、ソフトウェアの製造販売元の説明に沿って操作します。

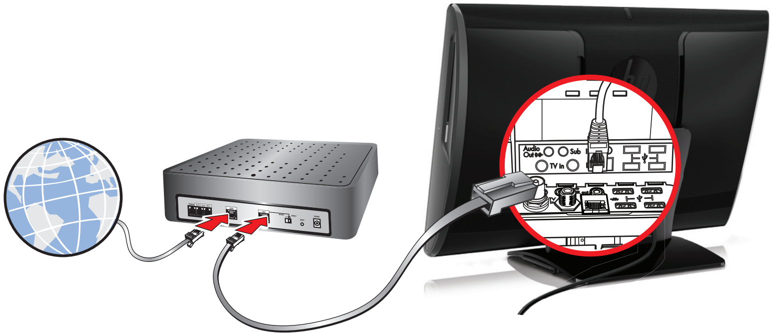
注記： ライセンスのあるオリジナルのソフトウェアのみを使用してください。不正にコピーされたソフトウェアをインストールすると、動作が不安定になったり、コンピューターがウィルスに感染したり、違法行為を問われたりする危険性があります。

インターネットへの接続

インターネットに接続するには、以下の手順で操作します。

1. インターネット接続用機器（別売）を接続します。

◦ 有線ネットワーク接続を使用する場合は､イーサネットケーブルをコンピューター､およびネットワークルーターまたは LAN デバイスに接続します。



◦ 無線ネットワーク接続を使用する場合は、無線ルーターをコンピューターとともに使用し、インターネット接続が可能な無線 LAN に接続します。



2. インターネットサービスを設定します。

◦ インターネットサービスプロバイダー（ISP）に申し込みます。ISP のアカウントをすでに持っている場合、この手順は省略し、ISP からの指示に沿って操作してください。

◦ コンピューターの初回セットアップ時にインターネットサービスの設定を行わなかった場合は、[コントロール パネル] の [ネットワークとインターネット] からインターネットサービスの設定を行います。

a. **[スタート]** ボタン→ **[すべてのプログラム]** → **[オンライン接続]**の順にタップします。

b. 画面の説明に沿って操作し、ISP の選択とインターネットサービスのセットアップを行います。

注記： [オンライン サービス]には ISP の一覧が表示されますが、他の ISP を選択するか、すでに持っているアカウントをこのコンピューターに設定しなおすことができます。既存のアカウントを設定しなおすには、ISP からの指示に沿って操作してください。

3. ISP 経由でインターネットに接続し、Web ブラウザーを開いてインターネットを参照します。

注記： インターネットへの接続に問題がある場合は、34 ページの「インターネットアクセス」を参照してください。

新しいコンピューターへのファイルおよび設定の転送

CD、DVD、メモリスティック、および外付けハードドライブを使用して、他のコンピューターから新しいコンピューターにファイルをコピーできます。Windows 7 に含まれている Windows 転送ツールソフトウェア（一部のモデルのみ）を使用すると、ファイルおよび設定を記憶装置にコピーするか、または転送ツールケーブルを介して他のコンピューターから新しいコンピューターに直接コピーすることができます。転送ツールケーブルは、2 台のコンピューターを接続して、Windows 転送ツールソフトウェアとともに使用するために特別に設計された USB ケーブルです。

注記： 転送ツールケーブルは別売です。標準の USB ケーブルは使用**できません**（一部の国/地域のみ）。

ファイルおよび設定を転送するには、以下の手順で操作します。

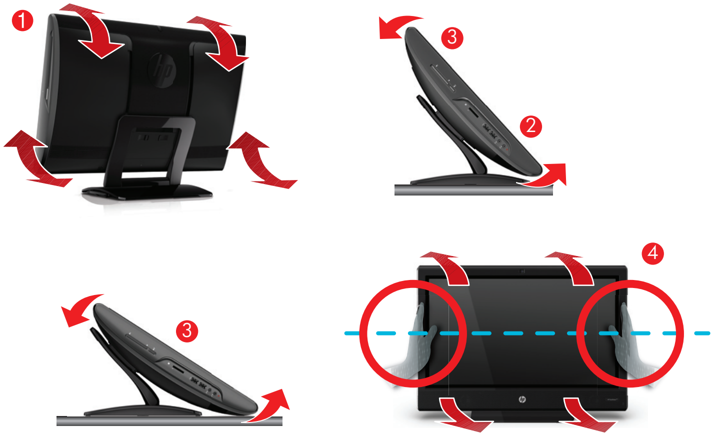
1. ［**スタート**］ボタンをタップし、**[検索の開始]** ボックスに「`Windows` 転送ツール」と入力して［**Windows 転送ツール**］をタップします。

2. Windows 転送ツールウィザードの画面の説明に沿って操作し、ファイルを新しいコンピューターに転送します。

注記： 一部の機能は、Microsoft Windows が付属していないシステムでは使用できない場合があります。

コンピューターの向き

お使いの HP TouchSmart PC は、さまざまな向きで操作できるように設計されています。まずは左右の向きを調整できます ①。また、スタンドの根元から前方に 5 度、後方に 30 度まで傾けることもできます ②。スタンドを傾けた状態で、レールに沿って立った状態からほぼ水平に寝かせた状態までスライドさせることができます ③。向きを調整するときは、必ずコンピューターの両端を持って動かしてください ④。



コンピューター（一部のモデルの HP TouchSmart のみ）を壁面に取り付ける場合は、横向きに設置することも、CD/DVD プレーヤーを上にして縦向きに設置することもできます。HP TouchSmart PC を壁面に取り付ける方法については、『HP TouchSmart の壁への取り付け』ユーザーガイドを参照してください。

HP My Display TouchSmart Edition

一部のモデルの HP TouchSmart PC のみ

HP My Display TouchSmart Edition では、タッチ機能を使用して画面表示を調整できます。

- 調整できるのは、サウンド、明るさ、およびコントラストです。
- また、表示モードを出荷時設定に戻したり、動画、テキスト、またはゲーム用に表示モードを最適化したりできます。
- オンスクリーンキーボードの Scroll Lock、Number Lock、または Caps Lock が設定されている場合は、状態インジケーターによってそのことが示されます。
- 設定画面では、ボタンのタッチ操作で色を調整できます。
- オプション画面では、ディスプレイオプションの設定、透過率の設定、および更新の確認を実行できます。

HP My Display TouchSmart Edition にアクセスするには、タスクトレイを使用するか、デスクトップを右クリックするか、または［**すべてのプログラム**］→［**HP**］→［**HP My Display TouchSmart Edition**］（HP マイディスプレイ TouchSmart エディション）の順にタップします。HP My Display TouchSmart Edition のオンラインヘルプを使用するには、アプリケーション画面の右上隅にある［**?**］ボタンをタップします。

Beats Audio の使用

一部のモデルの HP TouchSmart PC のみ

HP TouchSmart PC には、Beats Audio ヘッドフォンおよび外部オーディオシステム（別売、一部の国/地域のみ）用に最適化されたオーディオコネクター（ヘッドフォンコネクターおよびオーディオ出力コネクター）があります。HP TouchSmart[620] PC モデルには、Beats 用に最適化された内蔵スピーカーが搭載され、キーボードに Beats 切り替えボタン が付いています。

お使いのコンピューターでは、高音質で音楽を楽しむために、あらかじめ Beats が有効になっています。Beats を無効にするには、Beats 切り替えボタンを押します。Beats が無効であることを示すアイコンが画面に表示されます。Beats を有効にするには、Beats 切り替えボタンをもう一度押します。お使いのキーボードに Beats 切り替えボタンがない場合は、**Fn** ＋ **B** キーを押して Beats の有効/無効を切り替えます。システムトレイの［**Beats**］アイコンをタップすると、Beats のユーザーインターフェイスが表示されます。

はっきりとしたクリアなサウンドを楽しむには、側面のヘッドフォンコネクターに Beats Audio ヘッドフォンを接続します。内蔵スピーカーを使用する場合、Beats Audio を最大限の音質で楽しむには、サブウーファーを背面パネルの[Sub]（サブウーファー）コネクターに接続することをおすすめします。外部オーディオシステムを使用する場合は、背面パネルのオーディオ出力コネクターにオーディオシステムを接続します。

HP TouchSmart の安全で快適な使用

コンピューターの使用を始める前に、コンピューターおよび作業場所を整えて、快適な環境および生産性が保たれるようにします。人間工学に関する重要な情報について詳しくは、以下のサイトの『快適に使用していただくために』を参照してください。

http://www.hp.com/ergo/

⚠ **警告！** 操作する人の健康を損なわないようにするため、『快適に使用していただくために』をお読みください。このドキュメントは、正しい作業環境の整え方や、作業をする際の姿勢、および健康上/作業上の習慣について説明しており、さらに、重要な電気的/物理的安全基準についての情報も提供しています。

画面の反射を最小限に抑えるには、屋内で HP TouchSmart PC を使用します。また、画面を傾けることで反射を少なくすることもできます。

HP TouchSmart PC のディスプレイは入力デバイスとして使用できるため、肩や首に負担をかけないようにコンピューターを設置する必要があります。

肩に力を入れずにディスプレイをタッチできるようにするには、コンピューターを体に近づけることが必要な場合があります。ディスプレイをタッチするときは、肩が上がらないような姿勢を保ち、上腕を体に近づけるようにします。このことは、ディスプレイを使用して入力する機会が多いほど重要です。

コンピューターの位置をさまざまに変えることで、肩に力が入らないようにしながら、頭と首の位置を快適な姿勢に保つことができます。肩に力が入ってしまう場合は、コンピューターをさらに体に近づけるか、または作業場所の面を低くしてディスプレイの位置が下がるようにします。背中の上部の筋肉および首に力が入ってしまう場合は、作業場所の面を高くしてディスプレイの位置が上がるようにします。

正しい姿勢およびコンピューターの位置を以下の図に示します。



不適切な使用方法を以下の図に示します。



4 HP 3D シネマ テクノロジーの使用

この章では、以下の項目について説明します。

- 3D の安全に関する情報
- 立体映像および 3D とは
- HP 3D シネマテクノロジーとは
- HP 3D アクティブ シャッター メガネの使用
- 3D シネマ テクノロジーの使用
- 3D 形式について
- [CyberLink PowerDVD] の使用
- 3D ゲームのプレイ
- 3D メガネの取り扱い
- 3D Web カメラのセットアップ要件
- 同期の問題

3D の安全に関する情報

3D メガネおよび 3D シネマ テクノロジーを使用するには、事前に以下の安全に関するすべての注意事項をよくお読みください。

⚠ **警告！** 3D シネマ テクノロジーをセットアップしても 3D コンテンツを見ることができない場合は、使用を中止することをおすすめします。立体的な 3D 映像を見ることに身体面で不安がある場合は、医師に相談してください。

⚠ **警告！** 光感受性発作：人によっては、3D コンテンツで表示されることのある点滅光や点滅パターンなどの特定の視覚映像にさらされると、発作またはその他の合併症を起こすことがあります。お客様自身または血縁者に発作またはてんかんの病歴がある場合は、3D メガネおよび 3D シネマテクノロジーを使用する前に、医師に相談してください。発作またはてんかんを起こしたことのある血縁者がいない場合でも、光感受性発作を引き起こすことのある疾患が診断されないままになっていることがあります。

⚠ **警告！** **視覚の変化、ふらつき感、目まい、目や筋肉の痙攣などの不随意運動、ひきつけ、吐き気、認識力の喪失、意識障害、こむらがえり、失見当識**の症状のどれかが出た場合は、3D コンテンツの鑑賞をすぐに止め、医師に相談してください。お子様の場合は、保護者の方が様子に目を配り、前に述べた症状がないかお子様にたずねてください。子どもや未成年は、成人よりもこのような症状が出やすいことがあります。

⚠ 警告！ 眠気、疲れを感じるときや、病気にかかっているときは、3D コンテンツを鑑賞しないでください。3D メガネをかけて 3D を長時間鑑賞すると、頭痛や疲れの原因となることがあります。頭痛、疲れ、または目まいを感じた場合は、3D メガネを外して休んでください。

⚠ 警告！ 視覚には変化する能力が備わっているため、3D メガネを通して見ることにも対応できます。3D メガネを外したら、数分待ってから通常の活動を再開してください。

⚠ 警告！ 3D コンテンツには見る人に刺激を与えるものがあります。妊娠中の方、高齢の方、てんかんの症状がある方や、身体に重大な疾患がある方は、コンピューターの 3D 機能を使用しないことをおすすめします。

⚠ 警告！ 幼い子ども（特に 6 歳未満）の視覚は発達の途上にあります。幼い子どもに 3D ビデオ画像の鑑賞または 3D ビデオゲームで遊ぶことを許可する前に医師（小児科医、眼科医など）に相談してください。保護者の方は幼い子どもに目を配って、ここで説明している注意事項を確実に守らせるようにしてください。

⚠ 警告！ 窒息の危険性：3D メガネには細かい部品が含まれます。乳幼児や小さいお子様が飲み込まないよう十分ご注意ください。

⚠ 警告！ 3D メガネは水の近くで使用しないでください。

⚠ 警告！ 3D メガネのレンズにはガラスが含まれます。レンズの損傷を防ぐためには、3D メガネを慎重に取り扱い、使用しないときは適切に保管してください。レンズの損傷や亀裂が疑われる場合は、3D メガネを使用しないでください。

⚠ 警告！ 3D メガネは度付きのメガネや、サングラス、および保護ゴーグルではありません。身体障害を防止するために、3D メガネを一般的な眼鏡等の用途に使用しないでください。

立体映像および 3D とは

両目で見るとき、人間は実際には 1 つに合成された 2 つの像を見ています。右目と左目はそれぞれ別の像を脳に伝達し、脳はこれらの 2 つの像を 1 つの完全な 3 次元像に合成します。

これまでのほとんどの映画は、スクリーン上に 1 つの像しか映すことができず、3D 効果は他の方法で模すしかありませんでした。しかし、HP 3D アクティブ シャッター メガネはそれぞれの目に違う像を見せるため、3D 視覚をより細密に模します。

3D コンテンツの各シーンには 2 つの画像があり、1 つは右目、もう 1 つは左目の視点で描かれています。コンピューターのディスプレイはこれらの画像を高速で交互に表示するため、人間の目は変化を認識しません。

3D メガネの各レンズにはシャッターが付いています。画面に右目用の画像が表示されるとき、3D メガネの左レンズが閉じられるため、右目のみが画像を見ることができます。左目用の画像が表示されるときはプロセスが逆になり、左目のみが画像を見ることができます。こうした画像の交互表示は非常に高速に行われるため、目には 1 つの途切れのない像として映り、本当に 3D 環境の中にいるような感覚がもたらされます。

HP 3D シネマテクノロジーとは

3D シネマテクノロジーは、真に迫る迫力と臨場感にあふれた 3D 体験をもたらします。ブルーレイ 3D 映画、ステレオ 3D ゲーム、3D 写真、または 3D ビデオをコンピューターで再生し、3D メガネをかけて見ると、映像が画面から飛び出して見えます。3D によって、まったく新しい鑑賞体験を味わうことができます。3D シネマテクノロジーには、優れた 3D 体験を提供するために必要なすべてのコンポーネントがそろっています。3D 映画のような美しい映像を再現するために追加のソフトウェアを用意する必要はありません。

この 3D 体験を実現するために、以下の機能や装置が搭載されています。

- 3D ブルーレイ コンテンツ専用に設計、最適化された 3D テクノロジー
- 3D コンピューター ディスプレイと無線で同期する 3D アクティブ シャッター メガネ
- 3D フル HD 対応 1080p ディスプレイ
- TriDef™ 3D Experience Ignition ゲーム プレーヤー
- CyberLink PowerDVD

注記: 一部のモデルのコンピューターには 3D コンテンツが付属しており、3D をすぐに楽しむことができます。

このコンピューターは、2D 形式と 3D 形式の両方をサポートしています。立体 3D が検出されて 3D メガネが動作状態になっているとき以外は、標準の 2D モードで動作します。

3D モードで表示していないときは、3D メガネがスリープモードに入ります。3D モードで表示しているときは、3D メガネが常に動作状態になり、電池の消耗が早くなります。

HP 3D アクティブ シャッター メガネの使用

3D 体験は、有効な 3D コンテンツと 3D メガネを用意することから始まります。3D メガネは電池で動作し、コンピューターの赤外線（IR）エミッターと無線で接続します。

警告！ 3D メガネを使用するには、事前に 3D の安全に関する情報をお読みください。

注記： 最適な状態で 3D を再生するには、コンピューターのディスプレイから約 **1.5 m**（5 フィート）以内に座ってください。表示角度によって、画像を見ることのできるディスプレイからの距離は異なります。

蛍光灯や冷陰極蛍光ランプ（CCFL）が点いている場合は消してください。これらは 3D メガネの同期を妨げることがあります。

立体的な 3D 画像を見るときは、顔を水平に保つようにしてください。

IR エミッターの周囲に障害物がないことを確認してください。

注記： 3D メガネを使用する前に、レンズの両面からクリア保護フィルムをはがしてください（一部のモデルのみ）。

3D メガネの各部の位置と名称



名称	
（**1**）	電池ホルダー **注記：** 電池はあらかじめ取り付けられていますが、保護タブが付いていることがあります。タブが付いている場合は、タブを引き出して取り外してください 
（**2**）	ノーズ パッド（鼻当て）（×3/一部の国、地域のみ） **注記：** サイズの異なる 3 つのノーズパッドが用意されています。1 つは工場出荷時にメガネに取り付けられていて、残りの 2 つはメガネに同梱されています

3D メガネのオン/オフの切り替え

3D メガネの使い方は簡単です。

- 3D メガネのオン/オフは自動で切り替わります。オン/オフの切り替えスイッチはありません。
- 3D コンテンツの再生が始まると、メガネはコンピューターからの IR 信号を検出し、自動的にオンになります。
- 3D コンテンツの再生が始まると、3D メガネの起動中にレンズが暗くなったように感じられたり、少しちらつくように感じられたりすることがあります。
- 3D メガネに取り付けられた電池は、3D を約 150 時間再生できます。電池を節約するために、赤外線信号が 5 秒間検出されないと、3D メガネはスタンバイ状態になります。

3D シネマ テクノロジーの使用

3D コンピューターをセットアップしたら、3D コンテンツを適切に再生できるかどうか確認します。

注記： 立体的な 3D 効果は、暗くした部屋の中で最もよく発揮されます。最適な状態で 3D を再生するために、3D コンテンツの鑑賞時には、画面輝度コントロールも無効になります。

1. 3D コンテンツにアクセスするには、以下のどちらかの操作を行います。
   - コンピューターのデスクトップにある 3D デモ アイコンをダブルクリックし、メニューから 3D クリップを選択します。
   - コンピューターのスロット ローディング式オプティカル ドライブにブルーレイ 3D 映画（別売）を挿入し、画面の説明に沿って操作します。

   注記： ディスクを取り出すには、キーボードの右上隅にあるオプティカル ドライブのイジェクト キーを押します。
2. 3D メガネをかけます。必要に応じて、付属のノーズ パッドを使用して 3D メガネを調整します。
3. 3D コンテンツの再生が始まり、赤外線（IR）信号が検出されると、3D メガネが自動的にオンになります。メガネの起動中は、レンズが暗くなったり、少しちらついたりすることがあります。

   3D ではっきりと表示されれば、セットアップは完了です。3D 映画コンテンツをお楽しみください。

警告！ 調整後も 3D コンテンツを見ることができない場合は、3D メガネを外し、3D シネマテクノロジーの使用を中止してください。立体的な 3D 映像を見ることに身体面で不安がある場合は、16 ページの「3D の安全に関する情報」を参照し、医師に相談してください。

注記： 部屋の照明の周波数と 3D シネマテクノロジーの動作周波数が異なると、ちらつきが発生したり、メガネの動作が干渉を受けたりすることがあります。これを解消するには、照明を暗くするか消してください。

注記： 3D シネマテクノロジーでは、一度に複数の 3D アプリケーションを実行することはサポートされていません。1 つの 3D アプリケーションがすでに動作しているか有効になっているときに 2 つ目の 3D アプリケーションを起動すると、2 つ目のアプリケーションでエラーメッセージが表示されるか、アプリケーションが起動しません。常に一度に 1 つの 3D アプリケーションを使用してください。

3D 形式について

お使いのコンピューターは、以下の 3D 形式をサポートしています。

- ブルーレイ 3D 映画
- 立体的な 3D ゲーム
- 3D ビデオ再生用の 3D MPEG 4 MVC ファイル
- 3D ビデオ再生用の 3D H.264 MVC および Fujifilm AVI デュアルストリーム ビデオ ファイル形式
- 3D 写真表示用の 3D Fujifilm MPO

[CyberLink PowerDVD] の使用

[CyberLink PowerDVD] は、3D ブルーレイディスク、DVD、3D ビデオファイル、およびネイティブの 3D 写真をサポートしています。3D モードが有効になっている場合、ネイティブの 3D ブルーレイディスクを挿入するか、またはネイティブの 3D ビデオ/写真ファイルを再生すると、自動的に 3D で再生します。

再生中に、3D 構成設定を手動で調整して、立体 3D を見やすく再生することもできます。[CyberLink PowerDVD] の使用方法について詳しくは、ソフトウェアのヘルプを参照してください。

▲ [CyberLink PowerDVD] を起動するには、**[スタート]** → **[すべてのプログラム]** → **[CyberLink PowerDVD]** の順に選択し、[**CyberLink PowerDVD**] をクリックします。

3D ゲームのプレイ

[TriDef 3D Experience Ignition ゲーム プレーヤー]を使用すると、お使いのコンピューターでステレオ 3D ゲームを楽しめます。

このゲームプレーヤーにアクセスするには、**[スタート]** → **[TriDef 3D]** → **[TriDef 3D Ignition]** の順に選択します。

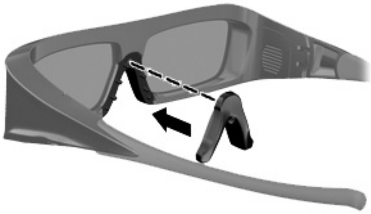
3D メガネの取り扱い

ノーズ パッドの使用

3D メガネには、サイズの異なる 3 つのノーズ パッドが用意されています。1 つは工場出荷時に 3D メガネに取り付けられていて、残りの 2 つのノーズ パッドは 3D メガネに同梱されています。3D メガネをかけてみてフィットしない場合は、ノーズ パッドを変えて一番フィットするものを見つけてください。必要に応じて、ノーズ パッドを装着しないで 3D メガネをかけることもできます。

注記： この 3D メガネは、多くの度付きメガネの上からかけられるようになっています。

▲ ノーズパッドを取り付けるには、ノーズパッドをメガネに差し込みます。ノーズパッドを取り外すには、ノーズパッドをメガネから引き抜きます。



電池の交換

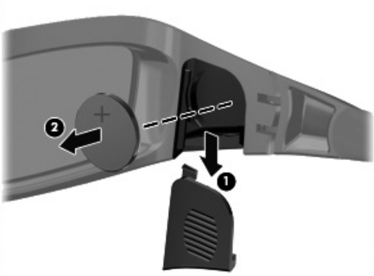
3D メガネの電池ホルダーには電池があらかじめ取り付けられており、その電力で約 150 時間分の 3D を視聴できます。1 年に 1 回は電池を交換することをおすすめします。メガネがスタンバイモードを維持できるのは最長 1 年までです。3D メガネでは､一般的な CR2032 型電池が使用されています。この型の電池は簡単に交換でき、電池を扱っている販売店であれば通常手に入ります。

警告！ 電池を交換する場合は、CR2032 型電池のみを使用してください。他の電池を使用すると、火災や爆発が発生するおそれがあります。

使用済みの電池は、お住まいの地域の規則に従って、正しく処分してください。子どもが電池に触れないようにしてください。

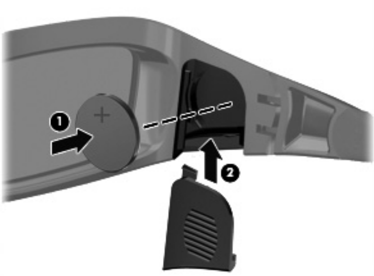
電池を交換するには、以下の操作を行います。

1. 電池ホルダー カバーを下方向にスライドさせてから（**1**）、使用済みの電池を取り外します（**2**）。



2. プラス（＋）側を電池ホルダー カバーの方に向けて新しい電池を慎重に挿入し（**1**）、電池ホルダー カバーを元の場所に取り付けます（**2**）。

注意： 3D メガネの損傷を防ぐため、電池を装着するときは慎重に行ってください。



3D メガネの清掃

汚れやごみを除去するには、必要に応じて、柔らかく湿り気のある、毛羽立たない布で 3D メガネを清掃してください。布を軽く湿らせるには、アルコール分が10% 未満の刺激の少ない洗浄剤を使用できます。

注意： 3D メガネの損傷を防ぐため、以下の点に注意してください。

紙素材のタオルを使用しないでください。レンズに傷が付く可能性があります。

レンズに洗浄液または洗浄剤を直接吹きかけないでください。

アンモニア ベースの清掃用製品は使用しないでください。

3D メガネの取り扱い

3D メガネは耐久性がありますが、物理的な圧力に弱いため、慎重に取り扱ってください。レンズに指紋が付くことを防ぐため、3D メガネを取り扱うときはフレームを持ってください。3D メガネを使用しないときには、保管用ポーチに入れておいてください。

⚠ **注意：** レンズにひびが入ることを防ぐため、3D メガネは決してねじったり、回転させたりしないでください。

3D Web カメラのセットアップ要件

最適な 3D 映像を得るには、被写体が常に Web カメラから 0.3 ～ 1.2 m の位置にあるようにしてください。

Web カメラの視差は、初期設定で最適に調整されています。利用環境に合わせて微調整したい場合は、Web カメラの [Parallax Adjustment - 視差調整] ページにアクセスします。

1. Web カメラアプリケーションを起動します。

2. [3D] タブをクリックして、3D モードを有効にします。

3. **[設定] → [表示] タブ → [詳細設定] → [Parallax Adjustment - 視差調整]** の順にクリックします。

4. 矢印をクリックして視差の位置を調整します。

- センターボタン：初期設定に戻します。
- 自動位置合わせボタン：初期設定に戻します。
- 上矢印および下矢印：縦方向の視差を調整します。
- 左矢印および右矢印：横方向の視差を調整します。

映像が二重にならないようにするための、Web カメラからの最適な距離は、**0.3 ～ 1.2 m** です。

同期の問題

3D メガネがディスプレイと同期するまでに最大で 5 秒ほどかかることがあります。顔を正面からそらして 5 ～ 6 秒経つと、再同期に 1 秒ほどかかります。2 分経つと 3D メガネがスリープモードに入るので、再同期に 5 秒ほどかかります。約 **3 m** 以上離れると、ユーザーの顔の向き（上下左右）が変わることによって同期の問題が起きることがあります。

5　トラブルシューティング、メンテナンス、およびよくある質問

プリンターなどの周辺機器に固有の問題については、製品の製造販売元が提供する説明書を参照してください。ここでは、コンピューターの設置、起動、または使用時に発生する可能性がある問題および考えられる解決策を示します。

トラブルシューティングのオプションについて詳しくは、1 ページの「「知りたい/困った」を調べるには」を参照してください。

コンピューターが起動しない

トラブル	解決方法
ハードドライブのエラーメッセージが表示される	サポート窓口（http://www.hp.com/support/）にお問い合わせください
コンピューターの電源が入らない、または起動しない	コンピューターを外部電源に接続しているケーブルが、正しく差し込まれていることを確認します。コンピューターを外部電源に接続しているケーブルが正しく差し込まれていて、電源コンセントが機能している場合、コンピューター背面にある電源装置のランプが緑色に点灯します。ランプが点灯しない場合は、サポート窓口にお問い合わせください
	ディスプレイ（画面）に何も表示されない場合は、コンピューターが正しく接続されていない可能性があります。コンピューターを接続して電源を入れます
	電源コンセントに別の電気装置を接続して、コンセントが正しく機能しているかテストします

トラブル	解決方法
コンピューターがロックされ応答していないように見える	Windows の [タスク マネージャー] で応答していないすべてのプログラムを閉じるか、またはコンピューターを再起動します **1**. キーボードの [Ctrl] キー、[Alt] キー、および [Delete] キーを同時に押します **2**. **[タスク マネージャーの起動]** をタップします **3**. 応答していないプログラムをタップして **[タスクの終了]** をタップします
	プログラムを終了しても解決しない場合は、以下の手順でコンピューターを再起動します **1**. キーボードの [Ctrl] キー、[Alt] キー、および [Delete] キーを同時に押します **2**. [シャットダウン] ボタンの隣の**矢印**ボタン→ **[再起動]** の順にタップします **または**、電源ボタンを 5 秒以上押したままにしてコンピューターの電源を切ってから、電源ボタンを押してコンピューターを再起動します
無効なシステムディスク、非システムディスク、またはディスクエラーに関するメッセージが表示される	ドライブの動作が停止したら、ディスクを取り出し、キーボードのスペースキーを押します。これで、コンピューターが起動します

電源ボタン

トラブル	解決方法
電源ボタンを押してもコンピューターの電源が切れない	コンピューターの電源が切れるまで、電源ボタンを押したままにします。電源設定を確認します
コンピューターが自動的にシャットダウンする	● コンピューターが過熱している可能性があります。室温と同じくらいになるまでコンピューターを冷却します ● コンピューターの通気が遮られておらず、内部ファンが動作していることを確認します。42 ページの「埃、汚れ、熱からのコンピューターの保護」を参照してください（コンピューターによっては、内部ファンがない場合もあります）

ディスプレイ（画面）

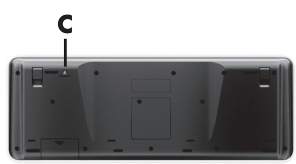
トラブル	解決方法
画面に何も表示されない	コンピューターの背面にある電源プラグと電源コンセントを接続しなおします
	電源ボタンを押し、コンピューターの電源を入れます
	キーボードのスペースキーを押すか、マウスを動かして、画面が再度表示されるようにします
	スリープボタン（一部のモデルのみ）またはキーボードの [Esc] キーを押して、スリープモードから復帰します
画面上の画像が大きすぎる/小さすぎる、またはぼやけている	Windows 7 でディスプレイの解像度設定を調整します **1**. **[スタート]** ボタン→ **[コントロール パネル]** の順にタップします **2**. **[デスクトップのカスタマイズ]** で、**[画面の解像度の調整]** をタップします **3**. 解像度を必要に応じて調整し、**[適用]** をタップします

キーボードおよびマウス（有線）

トラブル	解決方法
キーボードのコマンドおよび入力操作がコンピューターに認識されない	マウスを使用してコンピューターの電源を切り、キーボードのケーブルをコンピューターの背面から抜き、接続しなおしてから、コンピューターを起動しなおします
有線マウスが動作しない、または検出されない	マウスケーブルをコンピューターから抜き、接続しなおします
	それでもマウスが検出されない場合は、コンピューターの電源を切り、マウスケーブルを抜き、接続しなおしてから、コンピューターを起動しなおします
テンキーの矢印キーを使用してカーソルを移動できない	キーボードの [Num Lock] キーを押して Num Lock ランプを消灯させ、テンキーの矢印キーが使用できるようにします

<table>
<tr><th>トラブル</th><th>解決方法</th></tr>
<tr><td>カーソルがマウスの動きに反応しない</td><td>キーボードを使用して、開いているすべてのプログラムの変更を保存し、コンピューターを再起動します
1. [Alt] キーと [Tab] キーを同時に押し、開いているプログラムに移動します
2. [Ctrl] キーと [S] キーを同時に押し、選択されているプログラムで行った変更を保存します（ほとんど（すべてではありません）のプログラムで、[Ctrl] ＋ [S] キーは、保存を行うためのキーボードショートカットです）
3. 開いているすべてのプログラムで、手順 1 ～ 2 を繰り返して変更を保存します
4. 開いているすべてのプログラムで変更を保存したら、キーボードの [Ctrl] キーと [Esc] キーを同時に押して、Windows の [スタート] メニューを表示します
5. 矢印キーを使用して [シャットダウン] ボタンの隣の矢印ボタンを選択します。[シャットダウン] を選択して、[Enter] キーを押します
6. シャットダウンが完了したら、マウスコネクターをコンピューターの背面から抜き、接続しなおしてから、コンピューターを起動しなおします</td></tr>
<tr><td rowspan="2">カーソルの反応が遅い、垂直方向または水平方向にしか移動しない、または滑らかに移動しない</td><td>マウスボール付きマウスの場合
● マウスボールをクリーニングします。マウスの底面からマウスボールカバーを（反時計回りに回転して）取り外し、マウスボールを取り出して、毛羽立ちのない湿らせた柔らかい布で拭きます（紙は使わないでください）。また、ボールを動かすローラーをクリーニングします
● マウスパッド、またはその他の粗い面の上でマウスを使用します</td></tr>
<tr><td>オプティカルマウスの場合
● オプティカルマウスをクリーニングします。マウス底面の光センサーのレンズを、毛羽立たちのない柔らかな布で軽く拭きます（紙は使わないでください）
● マウスパッド、白い紙、または反射の少ない面の上でマウスを使用します</td></tr>
</table>

キーボードおよびマウス（無線）

トラブル	解決方法
無線キーボードやマウスが動作しない、または検出されない	• 無線キーボードまたは無線マウスをレシーバーの受信範囲内で使用していることを確認します。受信範囲は、通常の使用時は約 10 m、初回セットアップ時または再同期時は 30 cm 以内です • マウスがサスペンドモードに入っていないことを確認します。サスペンドモードは、20 分間操作が行われないと実行されます。マウスを再度有効にするには、マウスの左ボタンをタップします • キーボードおよびマウスの電池を交換します • 以下の手順を使用して、キーボードおよびマウスとレシーバーとを再同期します
	以下の図に示されているレシーバー、無線キーボード、および無線マウスは一例であり、お使いのモデルによって異なる場合があります **重要** : 以下の手順では、無線キーボードおよび無線マウスは、レシーバーと同じ高さで、レシーバーから 30 cm 以内で、他のデバイスから干渉を受けない位置に配置します
	1. コンピューターの USB コネクターからレシーバーを抜いて、接続しなおします。お使いのモデルのコンピューターによっては、レシーバー専用のコネクターがある場合があります  **2**. マウスの底面で、電源スイッチ（**A**）がオンになっていることを確認してから、Connect（接続）ボタン（**B**）を、レシーバーのランプが点灯するまで、または点滅しなくなるまで、5 ～ 10 秒程度押したままにします。レシーバーの接続セッションは 60 秒でタイムアウトします。接続が確立されており、レシーバーがタイムアウトしていないことを確認するには、マウスを動かして画面上での反応を見ます  **3**. マウスの接続が確立された後、キーボードの接続も確立する場合は、以下の操作を行います **4**. キーボードの裏面の Connect ボタン（**C**）を、レシーバーのランプが点灯するまで、または点滅しなくなるまで、5 ～ 10 秒程度押したままにします 

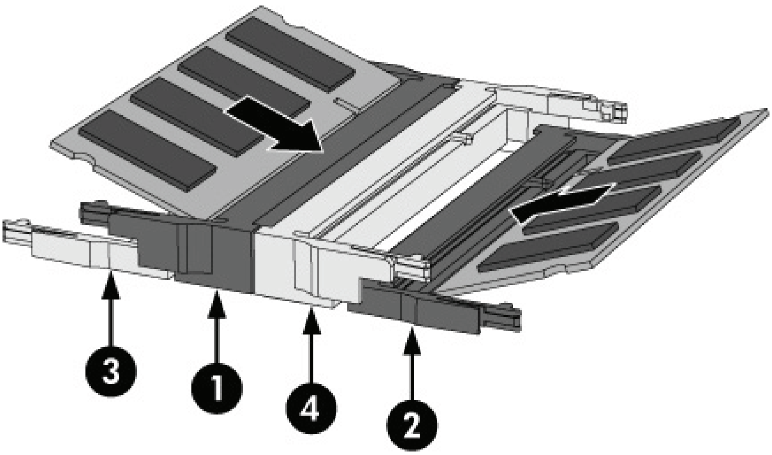
スピーカーおよびサウンド

トラブル	解決方法
音量が異常に小さい、または十分でない	スピーカーがコンピューター背面のライン出力コネクターに接続されていることを確認します（マルチチャンネルスピーカーの場合は、追加のオーディオコネクターが使用されています）。電源供給機能のないスピーカー（電池や専用の電源コードなど専用の電源がないスピーカー）を使用すると十分な音量が出ません。電源供給機能のないスピーカーを、電源供給機能付きのスピーカーに交換します
音が出ない	Windows 7 の場合 **1**. **[スタート]** ボタン→ **[コントロール パネル]** → **[アクション センター]** → **[トラブルシューティング]** の順にタップします **2**. **[ハードウェアとサウンド]** で、**[オーディオ再生のトラブルシューティング]** をタップします
	コンピューターの内蔵スピーカーを使用している場合は、音量ボタンを使用して音量を調整します。HP My Display TouchSmart Edition を使用して、音量が適切に設定されていることを確認することもできます
	電源付き（アクティブ）スピーカーが接続されていて、その電源がオンになっていることを確認します
	コンピューターの電源を切り、スピーカーのケーブルを抜いて、接続しなおします。スピーカーがライン入力コネクターやヘッドフォンコネクターではなく、オーディオコネクターに接続されていることを確認します
	スリープモードから復帰させるには、スリープボタン（一部のモデルのみ）を押すか、[Esc] キーを押します
	ヘッドフォンがコンピューター（またはスピーカーシステム）に接続されている場合は、取り外します
外付けスピーカーを接続すると、音が消されてしまう	オーディオのライン出力コネクター（ヘッドフォンや外付けスピーカーなど）が接続されている状態のときは、内蔵スピーカーの音が消されます

インターネットアクセス

トラブル	解決方法
インターネットプログラムが自動的に起動しない	ご利用のインターネットサービスプロバイダー（ISP）にログインしてから、必要なプログラムを起動してみます
インターネットに接続できない	Windows 7 の場合 1. **[スタート]** ボタン→ **[コントロール パネル]** → **[アクション センター]** → **[トラブルシューティング]** の順にタップします 2. **[ネットワークとインターネット]** で、**[インターネットに接続します]** をタップします
	ご利用のインターネット接続の種類に適したケーブルを使用していることを確認します。お使いのコンピューターには、イーサネットネットワークアダプター（ネットワークインターフェイスカードまたは NIC とも呼ばれます）が搭載されている場合があります。ネットワークアダプターは、ネットワークケーブルを使用してローカルエリアネットワーク（LAN）に接続されます。電話回線をネットワークアダプターに接続しないでください。また、ネットワークケーブルを電話線に接続しないでください。接続するとネットワークアダプターが損傷する場合があります
	無線ネットワークの接続ウィザードを実行します 1. **[スタート]** ボタン→ **[コントロール パネル]** → **[ネットワークとインターネット]** → **[ネットワークと共有センター]** の順にタップします 2. [ネットワークと共有センター] ウィンドウで、**[接続またはネットワークのセットアップ]** をタップしてウィザードを開き、画面の説明に沿って操作します
	お使いのシステムにアンテナが外付けされている場合は、アンテナを動かしてみます。アンテナが内蔵されている場合は、コンピューター本体を動かしてみます
	後でもう一度接続してみるか、またはご利用の ISP に問い合わせます

メモリ

トラブル	解決方法
コンピューターの電源を入れた後、警告音が鳴る	メモリモジュールが正しい順番で取り付けられていることを確認します。1 つ目と 2 つ目のメモリモジュールは黒のスロット（1、2）に取り付け、3 つ目と 4 つ目のメモリモジュールは白のスロット（3、4）に取り付けます 
	コンピューターに少なくとも 1 つのメモリモジュールが取り付けられていること、およびその 1 つが黒のスロットに取り付けられていることを確認します
	コンピューターのメモリモジュールを追加または交換した場合は、メモリモジュールの取り付け位置を確認します ● メモリモジュールが白のスロットのみに取り付けられ、黒のスロットに取り付けられていない場合は、警告音が鳴ります ● コンピューターの電源を切り、電源コンセントを抜いてから、メモリモジュールを正しい位置に取り付けなおします

ソフトウェアのトラブルシューティング

ソフトウェアの修復には、コンピューターの再起動だけで済む簡単なものもあれば、ハードドライブ上のファイルからシステムの復元を実行する必要があるものもあります。

ソフトウェアの問題を修復するには、以下の方法を試してみます。

- コンピューターの電源を完全に切り、もう一度入れます。多くの場合、これが問題を解決する最も簡単な方法です。
- ドライバーをアップデートします（36 ページの「ドライバーの更新」を参照）。
- Microsoft の [システムの復元] （37 ページの「Microsoft の [システムの復元]」を参照） を使用します。コンピューターを、ソフトウェアがインストールされる前に使用していた構成に復元します。
- ソフトウェアプログラムまたはハードウェアドライバーを再インストールします（37 ページの「ソフトウェアプログラムおよびハードウェアドライバーの再インストール」を参照）。ソフトウェア（製品に付属している場合）またはハードウェアドライバーを出荷時設定に戻します。
- [システムの復元]（43 ページの「システムリカバリ」を参照）を使用します。ハードドライブの内容を消去して再フォーマットし、オペレーティングシステム、プログラム、およびドライバーを再インストールします。

  注意： システムを復元すると、作成していたすべてのデータファイルが消去されます。

ドライバーの更新

ドライバーはプリンター、ハードドライブ、マウス、キーボードなどの接続されたデバイスとコンピューターのやり取りを可能にするソフトウェアプログラムです。

ドライバーを更新するには、また、新しいドライバーで問題が解決されない場合にドライバーの以前のバージョンに戻すには、以下の手順で操作します。

1. **[スタート]** ボタンをタップします。
2. **[検索の開始]** ボックスに「デバイス マネージャー」と入力して **[デバイス マネージャー]** をタップし、[デバイス マネージャー] ウィンドウを開きます。
3. プラス記号（+）をタップして、更新または元に戻すデバイスを展開します（たとえば、[DVD/CD-ROM ドライブ] など）。
4. 目的の項目をダブルタップします（たとえば、[HP DVD Writer 640b] など）。
5. **[ドライバー]** タブをタップします。
6. ドライバーを更新する場合は、**[ドライバーの更新]** をタップし、画面の説明に沿って操作します。

   または、ドライバーを以前のバージョンに戻す場合は、**[ドライバーを元に戻す]** をタップし、画面の説明に沿って操作します。

HP のサポート Web サイト（http://www.hp.com/support/）を表示して、[ドライバー & ソフトウェア ダウンロード] を選択することもできます。画面の説明に沿って操作します。

Microsoft の [システムの復元]

コンピューターにインストールしたソフトウェアが原因と考えられるトラブルが発生した場合は、[システムの復元] を使用して、コンピューターを以前の復元ポイントに戻します。復元ポイントは手動で設定することもできます。

注記： システムリカバリプログラムを使用する前に、必ず [システムの復元] を実行してください。

注記： 一部の機能は、Microsoft Windows が付属していないシステムでは使用できない場合があります。

[システムの復元] を開始するには、以下の手順で操作します。

1. 開いているすべてのプログラムを閉じます。
2. **[スタート]** ボタン→ **[コンピューター]** → **[プロパティ]** の順にタップします。
3. **[システムの保護]** → **[システムの復元]** → **[次へ]** の順にタップし、画面の説明に沿って操作します。

復元ポイントを手動で追加するには、以下の手順で操作します。

1. 開いているすべてのプログラムを閉じます。
2. **[スタート]** ボタン→ **[コンピューター]** → **[プロパティ]** → **[システムの保護]** の順にタップします。
3. **[保護設定]** で、復元ポイントを作成するディスクをタップします。
4. **[作成]** をタップし、画面の説明に沿って操作します。

ソフトウェアプログラムおよびハードウェアドライバーの再インストール

工場出荷時にインストールされたソフトウェアプログラムまたはハードウェアドライバーのどれかが破損した場合は、[リカバリ マネージャ] プログラムを使用して再インストールできます（一部のモデルのみ）。

注記： コンピューターに同梱されている CD または DVD からインストールしたソフトウェアプログラムを再インストールする場合は、[リカバリ マネージャ] プログラムを使用しないでください。これらのプログラムは CD または DVD から直接再インストールしてください。

プログラムをアンインストールする前に、再インストールが可能であることを確認してください。もともとインストールした場所（ディスクやインターネットなど）で現在もプログラムを利用できることを確認します。または、対象のプログラムが、リカバリマネージャから再インストールできるプログラムの一覧に含まれていることを確認します。

注記：　一部の機能は、Microsoft Windows が付属していないシステムでは使用できない場合があります。

[リカバリ マネージャ] でインストール可能なプログラムの一覧を確認するには、以下の手順で操作します。

1. **[スタート]** ボタン→ **[すべてのプログラム]** → **[リカバリ マネージャ]** → **[リカバリ マネージャ]** の順にタップします。確認画面が表示されたら、**[はい]** をタップしてプログラムを続行します。
2. **[早急に手助けが必要]** で、**[ソフトウェア プログラムの再インストール]** をタップします。
3. [ソフトウェア プログラムの再インストーラへようこそ] 画面で、**[次へ]** をタップします。プログラムの一覧が表示されます。該当するプログラムがあるか確認します。

プログラムをアンインストールするには、以下の手順で操作します。

1. すべてのソフトウェアプログラムおよびフォルダーを閉じます。
2. 破損したプログラムをアンインストールします。
   a. **[スタート]** ボタン→ **[コントロール パネル]** の順にタップします
   b. **[プログラム]** で、**[プログラムのアンインストール]** をタップします。
   c. 削除するプログラムをタップし、**[アンインストール]** をタップします。
   d. アンインストールの手順を続行する場合は、**[はい]** をタップします。

[リカバリ マネージャ] を使用してプログラムを再インストールするには、以下の手順で操作します。

1. **[スタート]** ボタン→ **[すべてのプログラム]** → **[リカバリ マネージャ]** → **[リカバリ マネージャ]** の順にタップします。
2. [ソフトウェア プログラムの再インストーラへようこそ] 画面で、**[ソフトウェア プログラムの再インストール]** → **[次へ]** の順にタップします。
3. インストールするプログラムを選択して **[次へ]** をタップし、画面の説明に沿って操作します。
4. 再インストールが完了したら、コンピューターを再起動します。**最後の手順を省略しないでください。**ソフトウェアプログラムまたはハードウェアドライバーのリカバリが完了したら、コンピューターを再起動する必要があります。

3D シネマテクノロジーのトラブルシューティング

質問	回答
3D コンテンツを見ることができないのはなぜですか	3D モードになっているときに 3D コンテンツを見ることができない場合は、3D メガネを使用しないことをおすすめします。詳しくは、以下の情報および16 ページの「3D の安全に関する情報」を参照してください。立体的な 3D 映像を見ることに身体面で不安がある場合は、医師に相談してください。 • 3D コンテンツを 2D モードで鑑賞しようとしていませんか。 • メガネのレンズの両面に貼られているクリア保護フィルムをはがしましたか（一部のモデルのみ） • 3D メガネの電池が切れていませんか。詳しくは、25 ページの「電池の交換」を参照してください。 • コンピューターディスプレイの IR エミッターの通信が妨げられていませんか。適切に通信できるように、IR エミッターの周囲に障害物がないことを確認してください • コンピューターのディスプレイからの距離が遠すぎませんか。3D コンテンツを視聴するときには、ディスプレイから約 **1.5 m** 以内の位置にいるようにしてください
コンピューターはどの 3D 形式をサポートしていますか	お使いのコンピューターでは以下の 3D 形式がサポートされています • ブルーレイ 3D 映画 • 立体的な 3D ゲーム • 3D ビデオ再生用の 3D MPEG 4 MVC ファイル • 3D ビデオ再生用の 3D H.264 MVC および Fujifilm AVI デュアルストリームビデオファイル形式 • 3D 写真表示用の 3D Fujifilm MPO
コンピューターは立体的な 3D ゲームをサポートしていますか。	はい。[TriDef 3D Experience Ignition Game Player] を使用すると、お使いのコンピューターでステレオ 3D ゲームを楽しめます このゲームプレーヤーにアクセスするには、**[スタート]** → **[TriDef 3D]** → **[TriDef 3D Ignition]** の順に選択します
このコンピューターの 3D メガネを映画館で上映される 3D 映画に使用できますか。	この 3D メガネは、TouchSmart 3D コンピューターおよび内蔵 IR エミッターで機能するように最適化されています。この 3D メガネでは、他の 3D 環境での最適な動作は保証されていません。

質問	回答
度付きメガネの上に 3D メガネをかけられますか。	はい。この 3D メガネは、多くの度付きメガネの上からかけられるようになっています。普段コンピューターの画面を見るときにメガネをかけている場合は、外さずに、その上から 3D メガネをかけてください。フィットしない場合は、付属の交換用ノーズパッドを試してみてください。詳しくは、20 ページの「HP 3D アクティブ シャッター メガネの使用」を参照してください
3D メガネを清掃するにはどうしたらよいですか。	軽く湿らせた、柔らかく、毛羽立たない布で 3D メガネを拭いてください。詳しくは、24 ページの「3D メガネの取り扱い」を参照してください
3D コンテンツを見るには、コンピューターからどのくらいの距離に座ればよいですか。	内蔵 IR エミッターの有効範囲は、コンピューターディスプレイから約 **1.5 m** です。表示角度によって、画像を見ることのできるディスプレイからの距離は異なります。
3D コンテンツの鑑賞時にちらついて見えます	3D メガネのちらつきは、以下のどちらかが原因で発生することがあります ● 部屋の照明の周波数と 3D シネマテクノロジーの動作周波数が異なると、ちらつきが発生したり、メガネの動作が干渉を受けたりすることがあります。これを解消するには、照明を暗くするか消してください ● メガネの電池残量が少なくなっています。電池を交換してみてください。詳しくは、25 ページの「電池の交換」を参照してください
窓のそばの明るい日の光の中で 3D メガネを使用できますか。	立体的な 3D 効果は、暗くした部屋の中で最もよく発揮されます。
3D メガネにはどの種類の電池が必要ですか	3D メガネでは、一般的な CR2032 型電池が使用されています。この型の電池は簡単に交換でき、電池を扱っている販売店であれば通常手に入ります。詳しくは、25 ページの「電池の交換」を参照してください
3D アプリケーションでエラーが表示されたり、アプリケーションが起動しなかったりします	3D シネマテクノロジーでは、一度に複数の 3D アプリケーションを実行することはサポートされていません。1 つの 3D アプリケーションがすでに動作しているか有効になっているときに 2 つ目の 3D アプリケーションを起動すると、2 つ目のアプリケーションでエラーメッセージが表示されるか、アプリケーションが起動しません。常に一度に 1 つの 3D アプリケーションを使用してください

メンテナンス

定期的なメンテナンスを実行し、コンピューターが最高のパフォーマンスで動作するようにすることが重要です。

毎週	
ソフトウェアのクリーンアップ	[ディスク クリーンアップ]、または他社製の安全なクリーニングツールを使用して、システムの動作を低下させる原因となる、蓄積された不要なファイルや一時ファイルを削除します。また、不要になったプログラムを確認して、それらをアンインストールします
デフラグ	ディスクデフラグプログラムを実行して、ハードディスクを最適な状態に保ち、システムパフォーマンスを向上させます。この作業を頻繁に実行しても、システムに害を与えることはありません
ウィルススキャン	完全なウィルススキャンを毎週実行することによって、知らないうちに入り込む可能性があるウィルスをキャッチできます。ほとんどのウィルス対策製品には、これを自動的に追跡するスケジュール機能があります
毎月	
ハードウェアのクリーンアップ	コンピューターの外部をすべてクリーニングします
ソフトウェアの更新	[Windows Update] を使用して、オペレーティングシステムのバグを修正し、パフォーマンスを向上させます。また、ハードウェアのドライバー更新プログラム、および使用しているプログラムの新しいバージョンの確認も行います
Windows Update	[Windows Update] を実行してアップデートをインストールします
ハードディスクの診断	ハードディスクの診断を行うと、ハードディスクの障害を、被害が出る前に検出できる場合があります
毎年	
システムリカバリ	コンピューターの使用方法にもよりますが、システムは、いつかは故障する可能性があります。システムリカバリプログラムを使用して、インストールされていた Windows オペレーティングシステムをいったん完全に消去し、初めてシステムを起動したときの元の構成に復元することができます。**システムリカバリを実行する前に、重要なデータファイルをバックアップします。**詳しくは、43 ページの「システムリカバリ」を参照してください
必要に応じて	
データのバックアップ	お使いのコンピューターにインストールされている CD または DVD 作成ソフトウェアを使用して、個人用ファイル、電子メールメッセージ、および Web サイトのお気に入りなどの重要な情報のバックアップディスクを作成（書き込み）できます。また、データを外部ハードドライブに移動することもできます

埃、汚れ、熱からのコンピューターの保護

お使いのコンピューターシステムを埃、汚れ、および熱から守ることで、より長く使用できます。埃、ペットの毛やその他のごみが積もることで、部品が過熱したり、キーボードやマウスの動きが滑らかでなく効率が悪くなったりします。埃やごみが付いていないかどうか、システムを 1 か月に 1 回確認し、3 か月に 1 回程度クリーニングしてください。

コンピューターの通気孔のクリーニング	通気孔によってコンピューターが冷却されます。電池式の小型掃除機で通気孔をクリーニングしてください（電池式の掃除機を使用することで、感電を防止できます） **1**. コンピューター表面の通気孔に掃除機をかけます **2**. コンピューターのコネクター（USB コネクター、イーサネットコネクターなど）の内部および周囲に付着したごみを取り除きます
キーボードおよびマウスのクリーニング	キーボードのキーをクリーニングする場合は、キーや内部のバネが外れないようにするため、電池式の掃除機を「弱」の設定で使用してください **1**. キーボードのキーの隙間および縁に掃除機をかけます **2**. 乾いた清潔な布にイソプロピル（消毒用）アルコールを付けて、キーボードのキーおよびその周囲をクリーニングします **3**. 柔らかい布などでマウスの本体およびコードを拭きます
	ローラーボール付きのマウスを使用している場合は、中のボールとローラーをクリーニングします **1**. マウスを裏返し、ボールカバーリングを反時計回りに回転してリンクを取り外し、ローラーボールを取り出します **2**. ローラーボールは石けんと温水でゆすぎます **3**. マウスの中にあるローラーは、イソプロピル（消毒用）アルコールで軽く湿らせた綿棒でクリーニングします **4**. ローラーボールとローラーが完全に乾いたら、ボールを元に戻してボールカバーリングを取り付けます
タッチスクリーンのクリーニング	以下の手順に従って、タッチスクリーンのクリーニングを行います **1**. コンピューターの電源を切ります。［**スタート**］ボタン→［**シャットダウン**］の順にタップします **2**. 電源コードを壁面のコンセントから抜きます **3**. 少量のガラス用中性クリーナーを柔らかい布に吹きかけて、タッチスクリーンを清掃します **4**. タッチスクリーンの表面および左右の側面を拭いて、画面のタッチ認識率を下げる可能性がある汚れ、指紋、その他のごみなどを取り除きます

注意： クリーナーを直接画面に吹きかけないでください。クリーナーは布に吹きかけ、その布でタッチスクリーンの側面および表面を拭きます。

タッチスクリーンの側面または表面を拭くときに研磨剤や布ヤスリを使用しないでください。タッチスクリーンが損傷するおそれがあります。

システムリカバリ

システムリカバリでは、ハードドライブの内容（作成したデータファイルを含む）を完全に消去して再フォーマットし、オペレーティングシステム、プログラム、およびドライバーを再インストールします。ただし、工場出荷時にコンピューターにインストールされていないソフトウェアは、手動で再インストールする必要があります。これには、コンピューターに同梱されているメディアからインストールしたソフトウェア、およびコンピューター購入後にインストールしたソフトウェアが含まれます。

注記： システムリカバリプログラムを使用する前に、必ず [システムの復元] を実行してください（37 ページの「Microsoft の [システムの復元]」を参照）。

注記： 一部の機能は、Microsoft Windows が付属していないシステムでは使用できない場合があります。

システムリカバリの実行方法を以下から選択する必要があります。

- リカバリイメージ : ハードドライブに格納されているリカバリイメージからシステムリカバリを実行します。リカバリイメージは､工場出荷時のソフトウェアのコピーが含まれたファイルです。リカバリイメージを使用したシステムリカバリの実行については、44 ページの「Windows 7 の [スタート] メニューからのシステムリカバリの開始」を参照してください。

  注記： リカバリイメージは、データ保存に使用できないハードドライブ領域を使用します。

- リカバリメディア : ハードドライブに格納されているファイルから作成したリカバリメディア、または別売のリカバリメディアから、システムリカバリを実行します。リカバリメディアの作成については、46 ページの「リカバリメディア」を参照してください。

システムリカバリのオプション

システムリカバリは以下の順序で実行する必要があります。

1. ハードドライブを使用して Windows 7 の [スタート] メニューから実行します。
2. ハードドライブを使用して、システムの起動中にキーボードの [F11] キーを押して実行します。
3. 作成したリカバリメディアから実行します
4. HP のサポート窓口で購入したリカバリディスクから実行します。リカバリディスクを購入するには、http://www.hp.com/support/ を表示します。

Windows 7 の [スタート] メニューからのシステムリカバリの開始

⚠ **注意：** システムリカバリオプションによって、作成またはインストールしたすべてのデータまたはプログラムが削除されます。重要なデータはリムーバブルディスクまたは USB フラッシュドライブにバックアップしておいてください

コンピューターが機能しており、Windows 7 を使用できる場合は、以下の手順でシステムリカバリを実行します。

1. コンピューターの電源を切ります。
2. キーボードおよびマウス以外に接続されている周辺機器（USB 接続機器、プリンターなど）を、コンピューターからすべて取り外します。
3. コンピューターの電源を入れます。
4. **[スタート]** ボタン→ **[すべてのプログラム]** → **[リカバリ マネージャ]** → **[リカバリ マネージャ]** の順にタップします。確認画面が表示されたら、**[はい]** をタップしてプログラムを続行します。
5. **[早急に手助けが必要]** で、**[システム リカバリ]** をタップします。
6. **[はい]** → **[次へ]** の順にタップします。コンピューターが再起動します。

   注記： システムのリカバリパーティションが検出されなかった場合は、リカバリメディアを挿入するよう求められます。ディスクまたは USB フラッシュドライブを挿入し、**[はい]** → **[次へ]** の順にタップします。コンピューターが再起動したら、リカバリディスクまたはリカバリ USB フラッシュドライブからリカバリマネージャーを実行します。ディスクを使用する場合、次のシステムリカバリディスクを挿入するよう求められたら、ディスクを挿入します
7. コンピューターが再起動したら、リカバリマネージャのようこそ画面がもう一度表示されます。**[早急に手助けが必要]** で、**[システム リカバリ]** をタップします。ファイルをバックアップするよう求められ、まだバックアップを行っていない場合は、**[ファイルを最初にバックアップしてください]** → **[次へ]** の順にタップします。それ以外の場合は、**[ファイルをバックアップせずに復元する]** → **[次へ]** の順にタップします。
8. システムリカバリが開始します。システムリカバリが完了したら、**[完了]** をタップしてコンピューターを再起動します。
9. セットアップを行い、デスクトップが表示されるまで待ちます。
10. コンピューターの電源を切り、すべての周辺機器を接続しなおして、コンピューターの電源を入れます。

システム起動中のシステムリカバリの開始

⚠ **注意：** システムリカバリオプションによって、作成またはインストールしたすべてのデータまたはプログラムが削除されます。重要なデータはリムーバブルディスクにバックアップしておいてください。

コンピューターは機能するのに、Windows 7 を使用できない場合は、以下の手順でシステムリカバリを実行します。

1. コンピューターの電源を切ります。必要であれば､コンピューターの電源が切れるまで電源ボタンを押したままにします。
2. キーボードおよびマウス以外に接続されている周辺機器（USB 接続機器、プリンターなど）を、コンピューターからすべて取り外します。
3. 電源ボタンを押し、コンピューターの電源を入れます
4. 起動中に HP Invent のロゴが表示されたら、**[ファイルをロードしています]** というメッセージが表示されるまで、キーボードの [F11] キーを繰り返し押します。
5. **[早急に手助けが必要]** で、**[システム リカバリ]** をタップします。
6. ファイルをバックアップするよう求められ、まだバックアップを行っていない場合は、**[ファイルを最初にバックアップしてください]** → **[次へ]** の順にタップします。それ以外の場合は､**[ファイルをバックアップせずに復元する]** → **[次へ]** の順にタップします。
7. システムリカバリが開始します。システムリカバリが完了したら、**[完了]** をタップしてコンピューターを再起動します。
8. セットアップを行い、デスクトップが表示されるまで待ちます。
9. コンピューターの電源を切り、すべての周辺機器を接続しなおして、コンピューターの電源を入れます。

リカバリメディアからのシステムリカバリの開始

⚠ **注意：** システムリカバリオプションによって、作成またはインストールしたすべてのデータまたはプログラムが削除されます。重要なデータはリムーバブルディスクまたは USB フラッシュドライブにバックアップしておいてください。

リカバリメディアの作成については、46 ページの「リカバリメディア」を参照してください。

リカバリメディアを使用してシステムリカバリを実行するには、以下の操作を行います。

1. コンピューターが動作する場合は、残しておきたいすべてのデータファイルを DVD または USB フラッシュドライブにバックアップし、コンピューターからバックアップメディアを取り出します。

2. 『リカバリディスク #1』を DVD ドライブトレイに挿入し、トレイを閉じます。リカバリ USB フラッシュドライブを使用する場合は、USB フラッシュドライブを USB コネクターに挿入します。

3. コンピューターが動作する場合は、**[スタート]** ボタン→ **[シャットダウン]** の順にタップします。コンピューターが応答しない場合は、コンピューターの電源が切れるまで、約 5 秒間**電源**ボタンを押したままにします

4. キーボードおよびマウス以外に接続されている周辺機器（USB 接続機器、プリンターなど）を、コンピューターからすべて取り外します。

5. **電源**ボタンを押し、コンピューターの電源を入れます。リカバリ DVD を使用する場合は、ディスクからリカバリマネージャーが自動的に起動します。手順 7 に進んでください。

6. USB フラッシュドライブからシステムリカバリを実行する場合は、**[Esc]** キーを押したままコンピューターの電源を入れて、起動メニューを表示します。矢印キーを使用して USB デバイスを選択し、**[Enter]** キーを押して USB デバイスから起動します

7. リカバリマネージャーで、システムリカバリをメディアまたはハードドライブのどちらから実行するか選択を求められたら、**[Media]**（メディア）を選択します。ようこそ画面の **[早急に手助けが必要]** で、**[購入時の状態にコンピュータを復元]** をタップします。

8. ファイルをバックアップするよう求められ、まだバックアップを行っていない場合は、**[ファイルを最初にバックアップしてください]** → **[次へ]** の順にタップします。それ以外の場合は、**[ファイルをバックアップせずに復元する]** → **[次へ]** の順にタップします。

9. 次のリカバリディスクを挿入するよう求められたら、ディスクを挿入します。

10. リカバリマネージャーの処理が完了したら、システムからすべてのリカバリディスクまたはリカバリ USB フラッシュドライブを取り出します。

11. **[完了]** をタップしてコンピューターを再起動します。

リカバリメディア

リカバリメディアは、空の DVD ディスクまたは USB フラッシュドライブのどちらか一方で作成できます（両方で作成することはできません）。リカバリメディアは、ハードドライブに格納されているリカバリイメージから作成します。このイメージには、工場出荷時にコンピューターにインストールされていたオペレーティングシステムおよびソフトウェアプログラムのファイルが含まれています。お使いのコンピューターで作成できるリカバリメディアは 1 セットのみです。また、作成したリカバリメディアはそのコンピューター**のみで**使用できます。安全な場所に保管してください

注記： 一部の機能は、Microsoft Windows が付属していないシステムでは使用できない場合があります。

リカバリメディアの選択

- リカバリディスクを作成するには、コンピューターに DVD 書き込みドライブが搭載されている必要があります。また、高品質の空の DVD+R ディスクまたは DVD-R ディスクのみを使用する必要があります。

  注記： CD、DVD+RW、DVD-RW、DVD+RW DL、DVD-RW DL、DVD+R DL、または DVD-R DL ディスクは、リカバリディスクの作成に使用**できません**。

- 代わりに、高品質の空の USB フラッシュドライブを使用して、リカバリ USB フラッシュドライブを作成することもできます。
- リカバリディスクを作成する場合は、必ず高品質のディスクを使用してください。ディスクに問題がある場合にはそのディスクを使用できませんが、これは異常ではありません。新しいディスクを挿入して再度試すように要求するメッセージが表示されます
- リカバリディスクに使用されるディスクの数は、お使いのモデルのコンピューターによって異なります（通常は 3 ～ 6 枚です）。リカバリメディア作成プログラムの画面上に、必要な空のディスクの数が示されます。USB フラッシュドライブを使用する場合は、すべてのデータを保存するために必要なドライブ容量が示されます（最小で 8 GB）

  注記： リカバリメディアを作成する作業は、メディアに書き込まれた情報が正しいかどうかを確認するために、ある程度の時間がかかります。作業はいつでも中止できます。次にプログラムを実行するときは、中止した場所から再開されます。

リカバリメディアの作成

リカバリディスクを作成するには、以下の手順で操作します。

1. 開いているすべてのプログラムを閉じます。
2. **[スタート]** ボタン→ **[すべてのプログラム]** → **[リカバリ マネージャー]** → **[リカバリメディア作成]**の順にタップします。確認画面が表示されたら、**[はい]** をタップしてプログラムを続行します。
3. **[Create recovery media using blank DVD(s)]**（空の DVD を使用してリカバリメディアを作成）→ **[次へ]** の順にタップします。
4. 画面の説明に沿って操作します。作成したリカバリディスクにはラベル（リカバリ 1、リカバリ 2 など）を付けます

リカバリ USB フラッシュドライブを作成するには、以下の操作を行います

1. 開いているすべてのプログラムを閉じます
2. USB フラッシュドライブをコンピューターの USB コネクターに挿入します
3. **[スタート]** ボタン→ **[すべてのプログラム]** → **[リカバリ マネージャー]** → **[リカバリメディア作成]**の順にタップします。
4. **[Create recovery media with a USB flash drive]**(USB フラッシュドライブを使用してリカバリメディアを作成）→ **[次へ]** の順にタップします。
5. メディアの一覧から USB フラッシュドライブを選択します。リカバリドライブを作成するために必要な容量が示されます。USB フラッシュドライブに十分な容量（最小で 8 GB）がない場合、そのドライブは画面で選択できなくなります。**[次へ]** をタップします。

   注記： フラッシュドライブがフォーマットされ、保存されているファイルがすべて削除されます
6. 画面の説明に沿って操作します。USB フラッシュドライブにラベルを付けて、安全な場所に保管してください。

注記： リカバリメディアの作成に SD カード、メモリースティックなどのメディアカードは使用しないでください。メディアカードからシステムを起動できず、システムリカバリを実行できない可能性があります

索引

環境への配慮

ご購入ありがとうございます。HP では品質、パフォーマンス、使いやすさに優れたコンピューターの開発に努めています。
さらにこのコンピューターは環境に配慮して設計されています。
いっそう環境を保護するために、ぜひご協力ください。

お客様にできること	HP が行うこと
古いコンピューターをリサイクルする HP では、使用済みの HP 製および他社製ハードウェアの回収プログラムを一部の地域で実施しています。規定要件およびお客様からの要望の違いに応じて、プログラムの実施条件や実施状況も地域により異なります。HP のリサイクルプログラムについては、HP の Web サイト（http://h50146.www5.hp.com/program/suppliesrecycling/jp/ja/hardware/household.asp）を参照してください。	環境に配慮した設計 お客様がこのコンピューターを永くご愛用いただいた後で廃棄するときのために、簡単に解体でき、できるだけ多くの部品をリサイクルできるよう設計しました。コンピューターの梱包箱もリサイクル可能です。
スクリーンセーバーを使わない スクリーンセーバーは、コンピューターがスリープ状態に入ることを阻止するため、電力を余計に消費してしまう場合があります。また、LCD のバックライトが点灯している時間が増えるため、モニターの寿命が短くなる可能性があります。	エネルギー効率の向上 このコンピューターには、HP の電源管理テクノロジーが搭載されています。これにより、非搭載のコンピューターと比較して最大 45% の省電力が実現します。最小限の電力のみ使用することで、電気代はもちろん、二酸化炭素の排出も削減できます。
電源設定を有効にしておく コンピューターに搭載されている電源管理ツールは、パフォーマンスに影響することなく電力の消費を最小限に抑えるように設定されています。この設定は有効のままにしておいてください。	より高品質、より少量の部材 HP では、お客様とご家族、そして地球環境を守るため、可能な限り安全な部材を全製品に使用しています。

Printed in

666993-291